

中学生と高校生を対象に

中高生暴力防止ワークショップを開催するにあたって

C A Pのワークショップに関心を持っていただきありがとうございます。中高生暴力防止ワークショップを開催するにあたっては、以下の条件を満たしている必要があります。ご検討の上、お申し込み下さい。

おとなワークショップを終えていること。

こどもにワークショップを提供する場合には、事前に必ずワークショップを受けるこどもたちの保護者、先生方が“おとなワークショップ”を受けていなければなりません。“おとなワークショップ”には人数制限はありません。

大人ワークショップは子どもワークショップ実施と同じ年度内に実施しなくてはなりません。

新しい年度に子どもワークショップを実施する場合は、大人ワークショップから実施する必要があります。

1 クラス単位でワークショップを行うこと。

“中高生暴力防止ワークショップ”は、本来20人～30人を想定して作られています。私たちは学校の現場では、こどもたちの自由に発言する場、安心して発言する場を保証するために、1クラス単位で引き受けています。こどもたちはワークショップに“参加”することで、多くのことを学びます。学年に複数クラスがある場合は、全てのクラスがワークショップを実施することも必要です。

保護者は、こどもワークショップには参加できないこと。

こどもたちの自由に発言する場、安心して発言する場を保証するために、中高生暴力防止ワークショップに保護者が参加することはできません。ただし担任の先生にはワークショップへの参観をお願いしています。

担任の先生の協力が必要なこと。

ワークショップには担任の先生の理解と協力が必要です。事前の打ち合わせ、当日の参観、ワークショップ実施後のこどもたちへのアンケートをお願いしています。

事前に名簿を見せてもらうこと。

前もってワークショップを行うクラスの名簿を見せてもらい、クラスの様子を教えてください必要があります。人権の問題を扱うワークショップなので、細かな配慮が必要だからです。また、ロールプレイの中で、クラスの子と同じ名前を使わないように名簿で確認します。被害者役や加害者役と同じ名前の子がクラスにいると後で問題が生じる可能性もありますし、こどもたちが集中できなくなる恐れがあるからです。

中高生ワークショップは90分×2日間です。授業時間の4コマを使います。

トークタイムをとれること。

90分のワークショップが終わった後、2日間ともこどもたちがC A Pのメンバーとグループで話をしたり、1人ずつお話をする時間と場所をとってもらいます。1人2～3分ずつのトークタイムです。そこでは簡単にワークショップの復習をします。

ワークショップの料金について

おとなワークショップ2万円、中高生ワークショップ3万円です。

ワークショップの依頼を受けてもすぐには対応できない場合もありますので、できるだけ早めに連絡して下さい。ワークショップの申し込みはファックスで受け付けています。

(留守電&ファックス 098-862-1686 まで)

*留守番電話とファックスのみの対応ですので、メッセージかファックスを入れておくと、後日C A Pの担当者から連絡します。